

福祉の活動30年

福祉
教育
医療
の

充実した茅ヶ崎を目指して



希望のワダッチ

和田 清

わだ

きよし

プロフィール

和田 清 (わだ きよし)

茅ヶ崎生まれ。先祖代々萩園の農家。
茅ヶ崎小・一中・藤沢西高、
上智大学在学中のボランティア活動で福祉を目指す。

茅ヶ崎市社会福祉協議会・県聴覚障害福祉センター職員を経て、市内の障がい者運動に参加。
よいしょ作業所、湘南鬼瓦、空と海等の建設に携わり、
それぞれ施設長を経て、(福)翔の会理事長。
現場の声を届けるため市議会議員に立候補。現在2期目。

※環境厚生常任委員会副委員長、市立病院運営協議会副委員長、都市計画審議委員、教育経済常任委員、決算委員長、農業委員などを歴任。

※市介護サービス事業所連絡会顧問、神奈川社会福祉専門学校非常勤講師、(福)翔の会・碧、(特非)パーソナルサービスセンタートムトム、介護の会まつなみ、ちがさき学童保育の会など複数の法人役員を歴任。

※CMT(シャルコーマリートゥース病)という難病当事者として、日本の患者会設立に参加し、現在理事を努める。

和田 清 後援会事務所

茅ヶ崎市元町4-29

TEL&FAX 0467-84-9969

Email:wadakiyoshi.kouenkai@gmail.com

活動実績

- ①グループホームの家賃補助
- ②医療ケアの必要な大人のショートステイ
- ③地域医療の充実
(かかりつけ医の推奨、病診連携、
夜間休日救急センターの拡充)
- ④通学路の安全対策
(一中通りガードパイプ、萩中正門前信号)
- ⑤待機児童対策
(保育園の支援、整備促進、保育士の処遇改善)
- ⑥支援の必要な子どもたちへの支援
(ふれあい補助員の増員、スクールソーシャル
ワーカーの設置、特別支援学級の増設)
- ⑦乱開発の抑制(高さ制限・最低敷地面積の策定)
- ⑧教職員の労働環境の改善
(労基法の遵守、メンタルヘルスの充実)
- ⑨地域包括ケアシステムの構築
(医療・介護の連携強化、まちづくり促進)
- ⑩難病対策の充実
(広報啓蒙、よりそう支援、関係機関の連携)
- ⑪バリアフリーのまちづくり
(駅エレベーターの充実、乗降スペースの確保、
私立病院駐車場屋根の設置)

和田清の主張

我が国の少子高齢化は大きな社会問題です。ベッドタウンとして発展してきた茅ヶ崎市は、これから**人口減少と急速な高齢化**を迎えます。介護難民や孤独死が起こらないよう、**福祉・医療**を含め思い切った街づくりを推進していく必要があります。交通弱者・災害弱者への支援対策も必須です。

福祉の現場で働いてきた経験と、2期8年の議員としての活動をこれからの街づくりに活かします。

討議資料



早急な 災害対策

災害弱者の支援策
クラスター地域の解消

高齢者が安心して 住める

地域包括ケアシステムの構築、
在宅介護支援の充実、
介護職員の処遇改善



子育て支援の 充実

認可保育所の拡充、
待機児童ゼロを目指して、
保育士の処遇改善



豊かな教育を 受けられる

教職員の負担軽減、
支援級増設・質の向上



マニフェスト 私の目指すまちづくり

障がい児者が 楽しく暮らせる

グループホームの増設、
医療ケアの可能な子どもの
ショートステイ、
当事者活動の支援



地域医療の充実

病診連携の促進、
医療・福祉の連携、
保健所特例市への移行、
看護師の確保



緑豊かで 環境負荷が少ない

ゴミ減量化、
リサイクルの促進
水田確保、農業支援

交通安全対策

通学路の安全対策、
市街地の乱開発抑止、
自転車・歩行者優先の
街づくり

交通
安全

